

生活力を育む保育

多国籍の子どもたちと共に育ちあう保育をめざして

第20回宇治市乳幼児教育・保育協働研修会

宇治市立大久保保育所公開保育

(2025年12月25日)

塘 利枝子

(同志社女子大学)

1

1. 複数言語で育つ乳幼児期の子ども

- (1) 言語の習得は認知発達に影響
- (2) 日本語に触れる時間数の絶対的な少なさ
- (3) 家庭での保護者の意識の多様性

保育者のことばの支援が、
外国籍の子どもにとっても、
日本語を母語とする子どもにとっても重要

- (1) **ことば**の支援
- (2) 対人関係の支援
- (3) アイデンティティの支援
- (4) 生活習慣への適応支援
- (5) 就学につなげる支援

2

2. 認知発達と二言語修得 (Cummins,1981;中島,2014;山本,2014)

しきい説(しきい理論) Threshold theory (Cummins,1976)

…二言語修得が認知発達に及ぼす影響は、二言語の到達度によって異なる。

①均衡バイリンガル(高度バイリンガル) Equilibrium Bilingual
二言語とも年齢相当水準まで高度に発達

→認知発達にも+

モノリンガル

部分的バイリンガル

②偏重バイリンガル Overbiased bilingual
(部分的バイリンガル)

一つの言語だけが年齢相当水準

→認知発達にも+でも-でもない。



1つの車輪でも行けるよ…

大きな車輪と小さな車輪でもいいよ…

③限定的バイリンガル
(二重)・限定バイリンガル

Limited Bilingual

両言語とも年齢相当水準に達していない

→認知発達にも-

高度バイリンガル



でも、車輪がバランスがとれていて、
よく膨らんでいれば、もっと遠くまで
行ける…



限定期
バイリン
ガル

でも、もちろんこうならなければ…

(Cummins 1985: 10 をもとに作成)

3

中島和子編著.(2010).マルチリンガル教育への招待:言語資源としての外国人・日本人年少者.ひつじ書房,p.35.

3. 乳児期から幼児前期におけることばのアセスメントと支援

早期発見、早期介入の必要性

(1)バイリンガルの子どもであっても、始語や二語文が著しく遅れることはない(バーンズ亀山・森,2010)。

(2)家庭での発話(身近な生活言語)や発達(指さし・共同注意)の状態を親に尋ねる。
→親の気づきを促す。

(3)乳児期における親の母語による語りかけの重要性(中島,2011)

(4)保育者からの日本語の量・質に意識したことばかけ。
ことばよりも感情が伝わる。
安全基地が得られれば、他児と関わることができる。

4

4. 幼児後期におけることばのアセスメントと支援

(1)周囲の行動を見て行動できるため、日本語の遅れに気付かれにくい。

5歳児男児の事例：親は日本語が分からないので、子どもが友達と日本語を使って遊んでいる姿を見て、子どもは日本語ができると思い込んでいる。

5歳児男児の事例：この保育所に来て8か月たつのに、上下左右等方向を表す言葉が理解できていないことに、最近気づいた。あと2か月で小学校に行くのにどうしよう。

(2)入所・園時から個別の支援計画を立てて、言語の発達を記録する。

⇒個別で指示、通常とは異なる指示、身振りで示さずことばのみで指示
「絵本の下に積み木を置いて」「赤の積み木の上に緑の積み木を置いて」

⇒行動面の発達の確認や言語を必要としない絵なども用いて確認する。

(3)日本語への理解度が低く、読み聞かせのような学習言語につながる活動に参加できない。

⇒カードを利用して視覚化しながら言語で語りかける。
できるだけ省略しない日本語で話しかけることを心がける。
就学に向けたひらがな、カタカナをカルタ、しりとりを通して遊びの中で獲得。
家庭で日本の幼児教育番組見せてもらうよう依頼する。

5

(4)養育者の母語による読み聞かせ

親子間のコミュニケーション言語の保証（母語・継承語）

母語・継承語教育で最も大事な時期は、
幼児期から就学初期（中島,2016,p.152）

(5)就学前施設におけることばの支援

⇒実況中継をする話しかけ
子どもと一緒にやってみせて、同時に保育者が子どもの行動を言語化する（塘,2022）。

「砂を掘って大きな穴を作っているんだ。シャベルで砂をたたいているね。水を穴に入れているんだね。」

⇒入所・園直後にはわかりやすい遊びを提供
言葉での説明を必要としないリズム遊び、模倣遊び
*徐々に言語活動も加える。リズム遊び、模倣遊びだけでは言葉は育たない（塘,2008）。

⇒個別の絵本の読みきかせ
発達段階や子どもの興味に即した絵本選び。
絵を指し示し、理解を確認しながらゆっくりと読み進める。

⇒日本語を母語とする子どもとつなぐ保育者の役割
行動や気持ちを「通訳」する。保育者が見たこと、感じたことを恐れずに言語化。

保育者は安全基地＋異文化間をつなぐ役割

6